

【資料4】

第2回高知市地域アクションプランフォローアップ会議資料

平成 28 年 2 月 10 日

平成 28 年度高知市地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

平成28年度 高知市地域アクションプラン（案）項目対比表

No.	現在(平成27年度)
1	キュウリの生産販売対策の強化による産地振興
2	グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興
3	生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興
4	イチゴの生産販売対策の強化による産地振興
5	ナシ産地の振興とブランド強化
6	時代のニーズに対応できる早期米産地の振興
7	新ショウガの生産振興
8	ユズを核とした中山間農業の活性化
9	四方竹のブランド化による中山間地域の振興
10	「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興
11	直販店を核とした鏡地域の活性化
12	「食」の提供による地域農産物の消費拡大
13	生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出
14	森の工場を核とする素材生産量の拡大
15	県産材を使った安心・安全の木造住宅の普及促進
16	春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上
17	【H27.9月削除】
18	県産竹材を用いた新規分野への製品展開
19	防災食の開発・製造・販売
20	「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚を活用した食品の製造・販売
21	地域の農産物を使った菓子類等の外商の推進
22	はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プランに基づく中心部の活性化
23	中心商店街でのアンテナショップの運営
24	多彩なイベントや演出等によるおまちのにぎわいづくり
25	おまちに関する情報発信の充実
26	中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上
27	近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進
28	本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展
29	温泉開発による観光地としての魅力の向上
30	浦戸湾を活用した観光の振興
31	土佐の偉人を活かした観光の振興
32	食による観光の推進
33	県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実

①削除

②削除

No.	改定案(平成28年度)
1	キュウリの生産販売対策の強化による産地振興
2	グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興
3	生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興
4	イチゴの生産販売対策の強化による産地振興
5	ナシ産地の生産安定及びブランド強化
6	時代のニーズに対応できる米産地の振興
7	新ショウガの生産振興
8	ユズを核とした中山間農業の活性化
9	四方竹のブランド化による中山間地域の振興
10	「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興
11	直販店を核とした鏡地域の活性化
12	「食」の提供による地域農産物の消費拡大
①追加	13 伝統作物の復活と関連産業の振興
②追加	14 異業種間のコラボレーションによる新たな商品・サービスの創出
	15 生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出
	16 森の工場の拡大による原木の増産
	17 県産材を使った安心・安全な木造住宅の普及促進
	18 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上
	19 県産竹材を用いた新規分野への製品展開
	20 防災食の開発・製造・販売
	21 「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚を活用した食品の製造・販売
→ 統合	22 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上
③追加	23 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化
	24 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進
	25 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展
	26 温泉開発による観光地としての魅力の向上
	27 浦戸湾を活用した観光の振興
	28 土佐の偉人を活かした観光の振興
	29 食による観光の推進
	30 県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実

高知市地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	伝統作物の復活と関連産業の振興 【事業主体】 Team Makino	「牧野野菜」を中心に、伝統野菜の生産拡大と業務・加工需要を含む販路を開拓することにより、伝統作物のブランド化と生産者の所得向上を目指す。また、伝統的な加工品の復活や新たな加工品を開発する。併せて、生産者と消費者の交流拡大や地域観光への活用を目指す。
2	異業種間のコラボレーションによる新たな商品・サービスの創出 【事業主体】 高知市、コラボネットワーク高知事務局	農林水産事業者と食品加工事業者など分野の異なる事業者の連携による新たな加工商品等開発の取組を促進するとともに、商品のブランド化と販路開拓の支援を行う。
3	日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化 【事業主体】 高知市、出店者4組合ほか関係団体等	「高知市街路市活性化構想」に掲げた事業を実施することにより、地元利用者や観光客、出店者等、関係者にとって魅力ある街路市を創造し、来客数、出店者数の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	No. 21 地域の農産物を使った菓子類等の外商の推進 【事業主体】 (有) マンジェ・ササ	平成27年2月末までに東京の2店舗を閉店した。首都圏での店舗の再出店について事業計画の立て直しを図っているため削除する。
2	No. 23 中心商店街でのアンテナショップの運営 【事業主体】 (株) まこと	県全域のアンテナショップとして開業以来、年々売上を伸ばし、経営は安定している。商工業分野の成長戦略に位置付けられており支援体制も継続していくことから、自立案件として整理する。

■その他(拡充、統合、分割)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 22 はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プランに基づく中心部の活性化 【事業主体】商店街振興組合など	【統合】はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プランの計画期間の満了に合わせ、残された課題等が高知市中心市街地活性化基本計画に統合されたことにより、関連する地域アクションプランとともに「中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上」として統合する。
	No. 24 多彩なイベントや演出等によるおまちのにぎわいづくり 【事業主体】商店街振興組合など	
	No. 25 おまちに関する情報発信の充実 【事業主体】商店街振興組合	
	No. 26 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上 【事業主体】高知市	

有望素材シート（28年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	高知市	素材名	伝統作物（ツケナ、カブ、ダイコン、ネギ、キュウリ、インゲン、ダイズ等）
		関連素材	伝統食・行事食、漬物、菓子

現状・課題	<p><現状></p> <p>近年、独特の味や形等を持った伝統作物が見直され、地域の伝統文化とともにPRする取組が全国に広がるとともに、機能性成分も注目されている。一方で、商業栽培される農作物は収量性や形質の揃いに優れたF1等の交配品種がほとんどであるが、伝統作物は栽培方法が難しく収量が低かったり交雑により形質が揃いなくなるなどの理由から消滅の危機にある。</p> <p>県内でも、「十市なす」（南国市）や「弘岡かぶ」（高知市春野町）、「入河内大根」（安芸市）などが以前から知られており、最近では「田村かぶ」（仁淀川町）のPR方法や「銀不老」（大豊町）の加工品などが話題になっている。また、最近存在が明らかになった『牧野野菜』と呼ばれるものには、既に失われたと考えられていた「潮江菜」をはじめ50種類以上の種子の存在が確認されている。さらに、県内には伝統作物という意識を持たずに個人で栽培・採種している事例も多いと考えられる。しかし、伝統作物への飲食店や一般消費者の認知度は低く、生産・流通体制もほとんど確立していない。</p>
	<p><課題></p> <p>選抜・採種・保存・配布等に関する技術の確立と体制の整備。収量性・品質の改善。</p> <p>ブランド化および業務・加工需要を含めた販路の拡大と加工品の開発。伝統食・行事食などの食文化を通じた交流および観光への活用。</p>
今後の方向性	<p>『牧野野菜』を管理する『Team Makino』を中心に、連携農家等との共同や委託により、採種・保存技術・体制を確立し、生産の拡大と安定を図る。</p> <p>伝統作物の持つストーリー（由来、伝統食等）をベースに、青果販売および加工業者等との連携により業務・加工需要を含めた販路の拡大を図る。また、伝統的な加工品の復活や新たな加工品の開発を図る。併せて、'食'を中心とした生消交流や地域観光に寄与する。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	伝統作物の復活と関連産業の振興
	関係市町村名	高知市

事業の概要	<p>『牧野野菜』を中心に、伝統野菜の生産拡大と業務・加工需要を含む販路を開拓することにより、伝統作物のブランド化と生産者の所得向上を目指す。また、伝統的な加工品の復活や新たな加工品を開発する。併せて、生産者と消費者の交流拡大や地域観光への活用を目指す。</p> <p>1. 生産拡大事業</p> <p>①『Team Makino』を中心に、連携農家等による採種技術の確立と採種ほ場の確保</p> <p>②『Team Makino』を中心に、連携農家等による栽培面積・生産量の拡大</p> <p>2. 販路拡大事業</p> <p>①青果販売および加工業者等と連携した「潮江菜」をはじめとした『牧野野菜』販路の拡大</p> <p>②青果業者等と連携した県内の業務需要の開拓による「下知ねぎ」の復興</p> <p>③加工業者等と連携した加工品の開発</p> <p>④生産者と消費者の交流拡大や地域観光への活用</p>
-------	--

事業主体等	<p>【事業主体】</p> <p>Team Makino</p> <p>【関係機関】</p> <p>久万川地区集落協定営農組合ほか連携農家、榑大豊ゆとりファーム、榑竹七屋、中央食料品店、城西館</p>
-------	--

取組手順	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31】	4年後【H32以降】
推進体制の確立	Team Makino組織体制の整備 推進ビジョンの策定	「下知ねぎ」生産農家の組織化	Team Makino組織体制の強化 推進ビジョンの改訂		
生産拡大	連携農家等の拡大 栽培・採種技術等の実証		連携農家等の拡大と組織化	採種技術・種子管理体制の確立	
販売拡大	ロゴ・商品説明リーフレット作成 商談会等への参加 交流活動の試行	商品説明リーフレット改訂		『牧野野菜図鑑』（仮称）の作成	
加工品開発	漬物類		菓子類		

項目	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31】	4年後【H32以降】
販売額	700千円	3,500千円	6,500千円	9,000千円	9,000千円
品目数・面積	2品目・10a	4品目・50a	8品目・100a	10品目・150a	10品目・150a
加工品数	1	3	5	7	7
【設定根拠】	【推計の考え方】				
仕分	【考え方】				

総事業費	千円	(うち28年度	千円)
(内訳 国:	県:	市町村:	その他:)
想定する支援事業 (補助金名称、人的支援の内容、その他)	国: 県: 人的支援: 普及指導活動強化促進事業		
その他:			
備考			

有望素材シート（28年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	高知市	素材名	「コラボネットワーク高知事務局」による異業種連携の取組
		関連素材	他者との連携による商品開発を目指す事業者

現状・課題	<p><現状></p> <p>○高知市主催の農商工連携セミナーの参加者有志によって平成24年に組織化された「コラボネットワーク高知事務局」は、異業種の事業者の連携による新商品開発の活動を支援しており、そこで生まれた商品から優秀作を選出する「コラボグランプリ高知」を毎年開催している。さらに、それらの販路開拓をサポートする取組も続けており、沢渡茶の大福が香港で人気を博すなどの実績をあげている。</p> <p>○「コラボグランプリ」では有名百貨店のバイヤー等を審査員に迎え、出場者による商品プレゼンテーションも評価対象とするなど、出場者におけるネットワークの拡大、商品評価のフィードバック、プレゼンテーション能力の向上その他人材育成を重視した取組が行われている。</p> <p>○高知でのこうした活動は他県においても広がりを見せ、各県事務局の連携によるコラボグランプリの全国大会が企画されており、各地の有望品目を集めてブランド化を推進し、海外を含めた販路開拓・拡大を目指している。</p>
	<p><課題></p> <p>○グランプリ受賞商品をはじめヒット商品が誕生し、連携の相手や品目を変えて次回のグランプリに向けた商品開発の活動が続けられるなど参加者の評価は高いが、まだ知名度が高いわけではなく、さらなる参加者及び開発商品・サービス拡大の可能性はある。</p> <p>○受賞を逃したのものにもブラッシュアップによって優れた商品になりうるものがあり、商品評価のフィードバックを活かした改良・改善が継続されるようにフォローアップが必要なケースがある。</p>
今後の方向性	<p>○活動の認知度向上と新たな参加者の拡大</p> <p>○新商品・サービスの開発支援</p> <p>○新たに誕生した商品・サービスの販路開拓の支援</p> <p>○他県の活動と連携した商品ブランディングによる海外展開の拡大</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	異業種間のコラボレーションによる新たな商品・サービスの創出
	関係市町村名	高知市

事業の概要	農林水産事業者と食品加工事業者など分野の異なる事業者の連携による新たな加工商品等開発の取組を促進するとともに、商品のブランド化と販路開拓の支援を行う。
-------	---

事業主体等	<p>【事業主体】</p> <p>コラボネットワーク高知事務局、高知市</p> <p>【関係機関】</p> <p>高知6次産業化サポートセンター、農林水産・商工関係団体</p>
-------	--

主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H28】	1年後	2年後	3年後	4年後
			【H29】	【H30】	【H31】	【H32以降】
	コラボレーションによる商品等開発の参加者の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 農商工連携セミナーの開催 ビジネスマッチングと新商品開発の支援 	→			
	コラボグランプリの開催による商品等評価のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> コラボグランプリ（高知大会）の開催 「にっぽんの宝物・ジャパン」（全国大会）への参画 エントリー商品に対する評価のフィードバック及びブラッシュアップの支援 	→			
	開発商品等の販路開拓支援	<ul style="list-style-type: none"> グランプリ受賞商品のPR及びブランド化の支援 国内外への販路開拓の支援 	→			

指標・目標	項目	事業実施	1年後	2年後	3年後	4年後
		【H28】	【H29】	【H30】	【H31】	【H32以降】
	農商工連携セミナー受講者数	延べ60事業者	延べ80事業者	延べ90事業者	延べ100事業者	
	コラボグランプリエントリー商品数	15アイテム	20アイテム	25アイテム	30アイテム	
	【設定根拠】	【推計の考え方】				

総事業費等	総事業費	千円	(うち28年度	千円)	
	(内訳 国:	県:	市町村:	その他:)
備考	想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)	国:	県:		人的支援:
		その他:			

有望素材シート（28年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	高知市	素材名	街路市活性化構想（日曜市、火曜市、木曜市、金曜市）
		関連素材	

現状・課題	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○300年以上の歴史を持つ土佐の街路市は、新鮮で安全・安価な農産物の流通機能を持ち、また観光スポットとしての評価も非常に高い。 ○毎週平均17,000人の人通りがあり、中心商店街や周辺観光スポットとの回遊性を確保することで、中心市街地活性化の面からも有望である。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○スーパーマーケットの産直コーナーなどに押され、地元利用客が減少傾向にある。 ○出店者の高齢化や後継者不足、新規出店者の減少により、出店登録者が減少傾向にある。 ○出店者減少→地元利用者減少→出店者減少という負の連鎖により、街路市の活力が低下している。 ○一方で増加傾向にある県外観光客や、外国人観光客への対応が不十分。
	<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元利用者の呼び戻し ○出店規制の緩和や新規出店者の開拓による出店者の増加に向けた取組 ○観光客や地元利用者に向けた情報発信の強化 ○空き小間の活用 ○若者の街路市離れを防止するための学校教育との連携

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化
	関係市町村名	高知市

事業の概要	「高知市街路市活性化構想」に掲げた事業を実施することにより、地元利用者や観光客、出店者等、関係者にとって魅力ある街路市を創造し、来客数、出店者数の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。
-------	--

事業主体等	<p>【事業主体】</p> <p>高知市、出店者4組合ほか関係団体等</p> <p>【関係機関】</p>
-------	--

取組手順	事業実施	1年後	2年後	3年後	4年後
	【H28】	【H29】	【H30】	【H31】	【H32以降】
街路市活性化構想登録41事業の推進	<p>登録41事業のうち、着手済みの事業及び実施期間が長期（10年以内着手）のものを除く20事業に順次着手するとともに、着手済み事業の継続と長期計画の実施に向けた検討も並行して進めていく。</p> <p>(1)地元客対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディア・マスコミへの情報提供の強化 ・パンフレットやFacebook等による情報提供の強化 ・地元客向けリーフレット、ポスターの作成、配布 ・空き小間を活用した取組 ・駐車場マップ・トイレマップ等の情報提供 ・手荷物預かり所の設置 ・ミニ観光案内所の開設 など <p>(2)観光客対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者、外国人への街路市パンフレット等の提供 ・エコバック配布、買い物・宅配支援の研究 ・イベント情報の提供 ・観光宣伝隊など県外PR活動の強化 など <p>(3)出店者対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店者台帳の作成と定期的な出店者訪問活動 ・ポランディアによる出店サポートの充実 ・「経営力アップのヒント」チラシの作成・配布 など <p>(4)景観対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路市図の作成、掲示、配布等 ・空き小間を活用した街路市情報・グルメパネルの設置 など <p>(5)教育・学び対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様感謝事業の充実 ・高知商業高校等の日曜市での活動への協力 ・高知大学等の日曜市での活動への協力 ・SMS等の活動への協力 など 				

指標・目標	項目	事業実施	1年後	2年後	3年後	4年後
		【H28】	【H29】	【H30】	【H31】	【H32以降】
	新規出店数	20件	20件	20件	20件	
	【設定根拠】	【推計の考え方】				

総事業費等	総事業費	千円	(うち28年度	千円)	その他:)
	(内訳 国:	県:	市町村:			
	想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)	国:	県:		人的支援:	
		その他:				
備考						